

●山の探鳥会に絶対さえずりも、さかんでほども、親鳥はヒナを育てるのにけいめいですから、巣を見つけても騒いざりしない、そつとそつと。

●ツバメのヒナが、こしはじめて巣立ったのを見たのは、いつでしたか？

●ご注意を  
ニイニイゼミが鳴き出します。ヤモリも鳴きます。秋の虫のハシリ、キリギリスやアハヒキリも、このころから鳴き出すのです。

●アシの生えた河原でも——  
細馬の中米あに行つてこんなない、オオヨシギのシヤズガキこえ、ヒクイナやヨシゴイも雨つています。でも、雨はずれども姿は見えず、場合が多いのは残念だけれど。

●実のなる常緑樹のさし木はいまトキワカゲム、タチバナトドナキ、マサキなど、みな、つきやすいです。

●夜の自然を探ろう  
懐中電灯を持って池田水田、水辺へ。カエルなら、アマガエル、シレーグルアオガエル、トノサマガエル。地ひびきを立てたり、急に近づき寄りなれば、2〜3歩そばで見てもだいじょうぶ。  
トビたちではコイサギ、アオバズク、タマシギ、ヒクイナなどの夏の鳥がにぎやかです。ただし、複歩きは危険が多いので、ひとりでは行かず、必ずグループで。

財団法人日本鳥類保護連盟  
サントリー株式会社



財団法人日本鳥類保護連盟

私たちは自然の一員として、トビやケモノを追いつめないように、自然を大切にすることを、いつも持ちたいものです。自然のすべをバラツクスがとれたよい状態になるように。

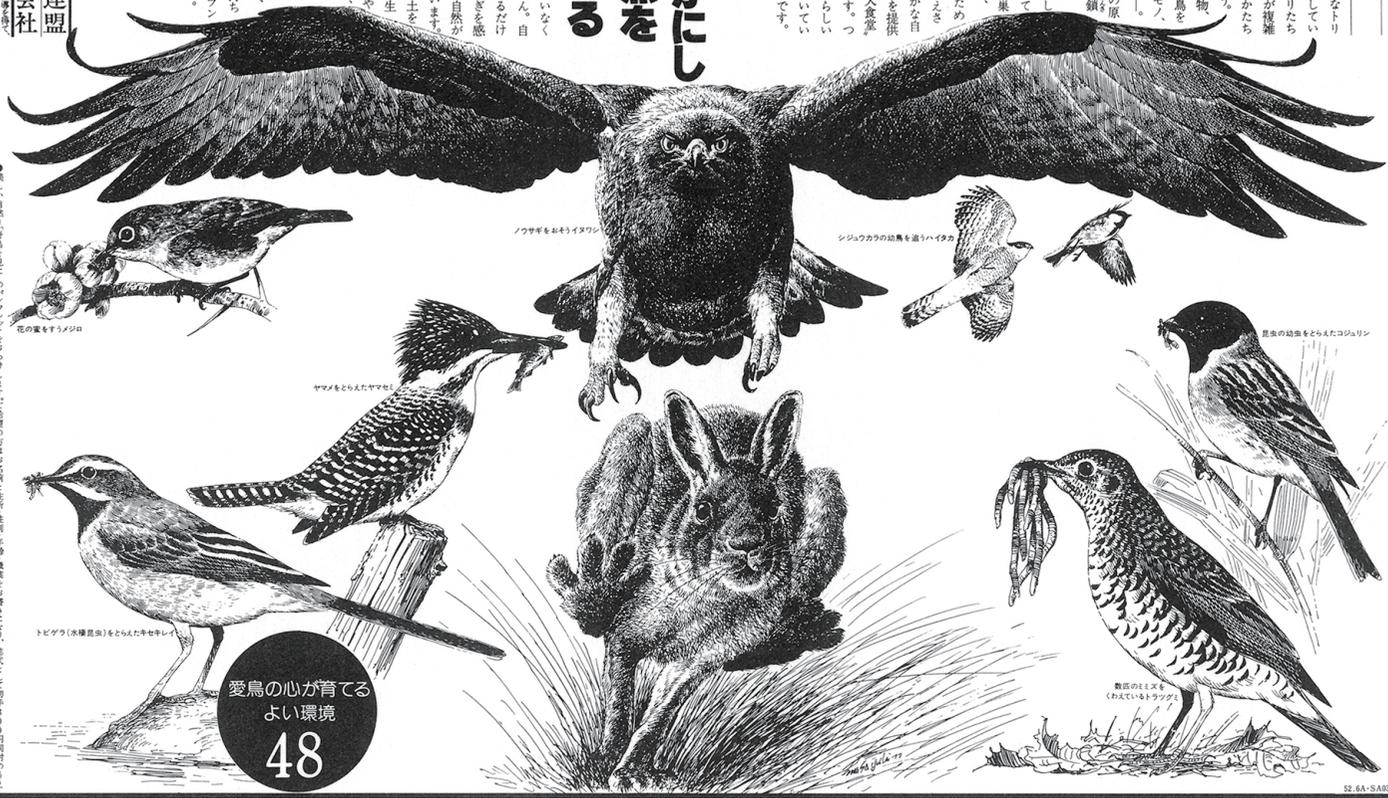
私たち人間も、自然とのつきあいをくしては生きていくことができません。自然からエネルギーや食べものを得るだけでなく、私たちが自然の中で安らぎを感じるには、何よりもトビにとって自然が大切なものであることを物語っています。ですから、もし人間が、空気をや水や土を汚すようになると、地球上に生きていく植物や動物の生活がおびやかされ、自然のバランスがこわれ、ヒト自身の生命も危険にさらされることとなります。

# 自然が トリを豊かにし トリは自然を かたぢびくる

いま、私たちが人間にはうつつという梅雨の季節ですが、野鳥にとっては繁殖期にあたります。結婚、果をつくり、卵を生み、ひなを育て、この間、食欲のたくましいひなのために、親鳥は朝から暗くなるまで、えさを求めて飛びまわっています。豊かな自然があるところは、彼らの食事を提供するのに十分な、いわば、自然の大食堂としての役割りを果たしてくれます。つまり野鳥の楽園は、自然のすばらしいしくみが、理想的なカタチで、こいてるころだといふことがでるのです。

## 自然のすばらしさ

いろいろなところに、いろいろなトリが、いろいろなエサを食べていると聞いています。よく考えると、そこにはトリたちだけでなく、いろいろな生きものが複雑にからみ合ひ、助けあつて自然をかたぢびくっていることがわかりました。鳥が食べる昆虫、昆虫が食べる植物、植物を食べる鳥、鳥を食べる鳥、鳥をおそうケモノ、ケモノを食べるケモノ、そして彼らが棲んでいる自然環境。このような関わりあひが、自然界の原則としてよく知られている食物連鎖です。



愛鳥の心が育てる  
よい環境  
48